

平成22年度
蒲郡市事務事業評価
結果報告書

= 競艇事業部事業課 =

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1105
事務事業名	456	勝舟投票券発売事業			
根拠法令等	モーターボート競走法	事業開始年度 事業期間	1955年度（54年）		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		（該当しない事業については記入不要です。）			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 （何のために）	収入の増加につながるよう勝舟投票券を安心してスムーズに購入できるようにする
対象(受益者) （誰・何を）	競走場来場者に対して
目標 （目指す成果）	発売事故やトラブルを減少させて、投票券を迅速かつ正確に発売する
そのための 手段 （手法）	発売事故やトラブルの原因は人的なミスがほとんどであるが、手窓（人手による発売）に対するニーズが激減しているため、自動販売機の導入を促進し、同時に自動販売機の性能向上を図る

事業実績（事業の概要）

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
販売体制 （投票窓口総数）	222	181	164
自販機台数	174	174	159
年間本場 利用者数	794,163	651,049	521,000
年間発売 事故件数	173	52	25

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
自販機普及率	目標			96.9%	100%
	実績	78.4%	96.1%		26年度
発売事故率	目標			0.0006%	0.0001%
	実績	0.0027%	0.001%		26年度

指標の説明

自販機普及率	投票窓口全体に占める自販機の割合
発売事故率	つり銭の過不足等、発売額と入金額が一致しない事故の割合。 発売事故件数 / 年間延べ本場利用者数 × 8 レース × 100で算出

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	5.00人	次長 課長級	1.00人	補佐級	1.00人	係長級		一般職		非常勤	3.00人	再任用	
H22 人工計	5.00人	次長 課長級	1.00人	補佐級	1.00人	係長級		一般職		非常勤	3.00人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	2,026,733	2,048,785	1,825,020
	人件費	25,972	25,432	
	合計	2,052,705	2,074,217	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	2,052,705	2,074,217	

必要性

必要性	D 市が実施しなくてもよい(民間で実施)
理由	モーターボート競走事業の施行者は総務大臣が指定する市町村とされているが、法により舟券の発売等の競走の実施事務については私人等に委託できる。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	事務の委託をさらに拡大することが可能であり、これにより事業運営の効率性をさらに高めることができる

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	発売形態の多様化により、全売上に占める自場売上分の比率は逡減傾向にある。今後もこの傾向は続くものと推測されるため、勝舟投票券発売事業はより効率化を求められる

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の性能アップに対応した機器更新(多額のコストが必要) ・安定稼動のための保守業務の定期実施の徹底
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・マークカードの全国統一を働きかける(機会あるごとに) ・施設改善に合わせた窓口数の検討(H23~25)

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	457	レース情報等作成委託事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	電話投票売上向上のため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇に関心のある人に
目標 (目指す成果)	テレビ・インターネットを通じて
そのための 手段 (手法)	投票(特に電話投票)のために情報提供を行い売上向上を図る

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
JLCに委託し競艇情報を提供しているもの	展望番組(深夜に30分放送) ピットレポート(7R以降のピット情報を中継放送内にて放送)	展望番組(深夜に30分放送) ピットレポート(7R以降のピット情報を中継放送内にて放送)	展望番組(深夜に30分放送) ピットレポート(7R以降のピット情報を中継放送内にて放送)
SG・GI等特別レース	周年競走	周年競走・SG競走	周年競走・SG競走・地区選手権

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
経費一円当たりの電投売上額	目標				
	実績	452	517		年度
電話投票売上額前年度比	目標				
	実績	75	99		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

経費一円当たりの電投売上額	蒲郡電話投票総売上額/レース情報提供事業費
電話投票売上額前年度比	当年電話投票売上額/前年電話投票売上額

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.38人	次長 課長級	0.04人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.27人	非常勤	0.02人	再任用	
H22 人工計	0.39人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.27人	非常勤	0.02人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	55,943	48,137	53,923
	人件費	2,312	2,344	
	合計	58,255	50,481	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	58,255	50,481	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	本場に来られない全国のファンに、出来るだけ多くの情報を提供することで、蒲郡のレースを積極的に購入してもらうため。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	原稿を読むだけでなく選手への取材を通して生の情報を、旬の情報を正確に伝えるために常に工夫をしている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	電話投票への影響も大きく、放送内容もさらに充実していくことが大切である。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	提供する情報にも工夫を加え、蒲郡色を前面に押し出した内容になるように工夫する。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	画面に映し出される背景にも気を配り、いろいろ工夫している。 放送媒体が多様化してくる中で、制作会社との権利関係の調整や、媒体によって内容を調整できるように工夫していく。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	458	表彰式、イベント等開催事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	来場促進・ボートレース場の親しみやすさのアピール・場内の賑わい創出
対象(受益者) (誰・何を)	主に愛知県内在住者・ボートレースファン
目標 (目指す成果)	ファミリー層、20代及び30代に喜ばれるイベントを実施する
そのための 手段 (手法)	ターゲット層にあったイベントを行う

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
主なイベント	キャラクターショー・歌謡ショー・トークショー・縁日コーナー・お笑いショー	キャラクターショー・歌謡ショー・トークショー・縁日コーナー・お笑いショー・予想コーナー・マジックショー	キャラクターショー・歌謡ショー・トークショー・縁日コーナー・お笑いショー・予想コーナー
売上額	69,422,163,900	70,630,973,400	
年間入場者	794,163	651,049	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
入場者一人当たりの イベント経費	目標				
	実績	67	82		年度
イベント経費に 対する売上額	目標				
	実績	1,308	1,395		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

入場者一人当たりの イベント経費	イベント等開催経費/年間入場者数
イベント経費に 対する売上額	売上額/イベント開催経費

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.75人	次長 課長級	0.04人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤	0.46人	再任用	
H22 人工計	0.78人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.22人	非常勤	0.46人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	53,060	50,619	68,487
	人件費	2,955	3,115	
	合計	56,015	53,734	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	56,015	53,734	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	レース以外の楽しみを創出することで、場に足を運んでいただき、来場することへの楽しみにつなげリピート率を高めたい。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	イベント内容によっては集客はとても良い。しかし、即売上向上につながらない。継続していくことが重要であると考え。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	継続、繰り返すことが、来場しやすさにつながり売上向上につながっていくと考える。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	新規ファン獲得が大切だと考えています。そのために、継続してイベントを行うこと。また、ターゲットを絞ったイベントを実施する。そのためには、旬なタレント等でイベントを行いたいが、経費の面を考えると難しい面もある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	いかにコストパフォーマンスの高い実施していくかが最大の課題である。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	459	案内所・インフォメーションセンター運営事業		
根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

目的 (何のために)	場内の案内、問い合わせへの対応。その他各種問い合わせに対する応対するため
対象(受益者) (誰・何を)	ボートレース蒲郡への来場者
目標 (目指す成果)	蒲郡ボートレース場来場者へのファンサービス向上
そのための 手段 (手法)	案内所業務を円滑に実施するために、入場するお客様を歓迎する姿勢で適切な対応を心がける。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
委託料	13,637	10,311	
委託人数	5	5	5
入場者数	794,163人	651,049人	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
入場者一人当たりの委託料	目標				
	実績	17.17	15.84		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

入場者一人当たりの委託料	案内所・インフォメーションセンター運営委託料/入場者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.46人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.10人	非常勤	0.26人	再任用	
H22 人工計	0.45人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.09人	非常勤	0.26人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	13,637	10,311	14,695
	人件費	2,040	1,954	
	合計	15,677	12,265	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	15,677	12,265	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	場内案内、舟券購入方法や各種情報を提供する場所であり必要。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成22年に向けた業者選定において見積もりあわせを行った結果契約単価が下がった。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	業者の努力もあり、質を落とすことなく若返ったスタッフによる案内業務が実現できている。しかし、一方で経験不足により一部ファンから不満も聞かれた。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	来場されたファンに満足いただける案内業務を目指しているが、一層の知識が求められる。経費削減による委託料での業者選定では業者が頻りに業者が変わることも考えられ好ましくないと考える。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	施設改善後の案内業務のあり方、内容について他場のやり方等を参考にしながら考えていきたい。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	460	ファンサービス品提供事業		
-------	-----	--------------	--	--

根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
-------	--	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
----------------	---------------------	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	来場促進のために
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡ボートレース場来場者に
目標 (目指す成果)	蒲郡ボートレースのPRを行い、来場者及び売り上げ増につなげる
そのための 手段 (手法)	ファンサービス品等を配布することにより

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
主な内容	G 周年・G	S G M B 記念・G 周年・G	S G・G・G
入場者数	794,163人	651,049人	
本場売上額	15,966,485千円	12,415,007千円	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
入場者数に対する ファンサービス経費	目標				
	実績	21.21円	22.03円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

入場者数に対する ファンサービス経費	ファンサービス経費/入場者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.57人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.24人	非常勤	0.23人	再任用	
H22 人工計	0.56人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.23人	非常勤	0.23人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	14,111	11,717	14,505
	人件費	2,735	2,627	
	合計	16,846	14,344	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	16,846	14,344	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	究極のファンサービスは「入場無料」との観点から年間を通じて入場無料を目指している。国交省の指導で有料期間を設けなければならないことから、有料入場時に入場料金相当の100円金券を配布し、実質無料としている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	いつ入場しても無料との考えは浸透し、来場し易くなったと考える。しかし、来場者が増加したとはいい難い。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	有料入場者に何かを配布していくという方向は今後も堅持していくべきであると考えますが、有料期間の長さを考え今後のサービスの方法を考えていかなければならない。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	全国的に来場者、売上は下がってきている状況のなか、いかに来場者、売上を確保していくか。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	有料入場者へのサービスはそのままに、魅力のあるサービス提供を考えていく必要がある。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	461	ファンクラブ運営管理事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	来場促進及び蒲郡競艇ファンの獲得
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡競艇有料ファンクラブ会員
目標 (目指す成果)	会員(蒲郡競艇の恒常的なファン)を増やし、売上向上に結びつける
そのための 手段 (手法)	会員を募り、ファンクラブイベント等を通じて来場促進を図る

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業内容	入会プレゼント、場外発売時の抽選会、場外観戦ツアー、競艇選手との集い、指定席無料入場券進呈、トトまるルーム入場可能等	入会プレゼント、場外発売時の抽選会、場外観戦ツアー、競艇選手との集い、指定席無料入場券進呈、トトまるルーム入場可能等	場外発売時の抽選会、場外観戦ツアー、競艇選手との集い、指定席無料入場券進呈、トトまるルーム入場可能等

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
会員数	目標			1,000	
	実績	1,150	1,121		年度
ファンクラブ会員あたりの事業費	目標				
	実績	9,449	6,478		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

会員数	ファンクラブ会員数
ファンクラブ会員あたりの事業費	ファンクラブ会員一人あたりの事業費

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.52人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.04人	一般職	0.07人	非常勤	0.36人	再任用	
H22 人工計	0.62人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.16人	非常勤	0.36人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	7,978	7,262	10,547
	人件費	2,029	2,561	
	合計	10,007	9,823	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	10,007	9,823	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	ポートルース蒲郡の恒常的ファンの増加、売上向上のため、競走会との連携のもと実施する事業に位置づけられている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	年会費を超えるファンサービス特典を実施しており、経済効率性は低いですが、観戦ツアーでは負担金を徴収するなどの努力をしている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	ポートルース蒲郡の恒常的ファンを維持するための事業として貢献しているが、効率的な運営努力が必要とされる。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	サービス内容がマンネリ化しており、見直しが必要と考える。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	来年度には本格的に施設改善工事が行われる計画である。そんな中指定席無料入場券、トトまるルームへの入室等のメインサービスの継続が難しい状況にあり、今後の継続が難しいと考える。そこで、一旦休止し、参加型ファンクラブの創設を目指したい。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	462	ポイントカードサービス事業		
-------	-----	---------------	--	--

根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
-------	--	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
----------------	---------------------	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	来場促進のため
対象(受益者) (誰・何を)	ボートレース入場者
目標 (目指す成果)	ボートレース蒲郡への来場者増と売上向上を図る
そのための 手段 (手法)	ポイントカードに入場ポイントを加算し、それに応じてグッズと交換することにより

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
延交換者数	4,594	4,321	
交換換算額	3,514,545	3,163,545	
登録会員数	15,901	16,315	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
交換者一人当たりの交換換算額	目標				
	実績	221	194		年度
会員登録割合	目標				
	実績	2.00%	2.50%		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

交換者一人当たりの交換換算額	交換換算額/延交換者数
会員登録割合	登録会員数/年間総入場者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.46人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.10人	非常勤	0.25人	再任用	
H22 人工計	0.46人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.10人	非常勤	0.25人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	2,417	63	2,164
	人件費	2,096	2,062	
	合計	4,513	2,125	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	4,513	2,125	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	リピーター確保に効果的である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	トトまるグッズの人気は依然高いが、売上向上に直結しているとはいえない。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	来場ポイントがトトまるグッズに交換できるというサービスは定着し、効果は上がっていると思う。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	今後、新しいグッズの提供により、更に来場意欲を盛り上げていきたい。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	トトまるグッズ=来場ポイントから新たな展開も考えていかなければならないと考えます。施設改善を控えたなかで新たなサービス展開も視野に入れることも必要かもしれない。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	463	新聞・雑誌等広告事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	レース開催、場間場外発売、イベント等の周知
対象(受益者) (誰・何を)	ボートレースファン層及び主に愛知県内在住者
目標 (目指す成果)	レース開催日程、場間場外発売日程の分かりやすく、デザインで目を引く広告を出稿する。
そのための 手段 (手法)	日程が見やすく、デザインで目を引く広告を制作する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
本場売上額	69,869,991,100	71,560,800,800	
広告事業費	164,724,203	258,227,974	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
本所開催広告事業費 一円あたりの売上額	目標				
	実績	424	277		年度
新聞・雑誌広告 事業費の割合	目標				
	実績	46.1	44.1		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

本所開催広告事業費 一円あたりの売上額	本場開催売上額/本場開催広告事業費
新聞・雑誌広告 事業費の割合	新聞・雑誌等広告事業費/広告宣伝費総額×100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.39人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.23人	非常勤	0.05人	再任用	
H22 人工計	0.43人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.27人	非常勤	0.05人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	164,724	258,228	320,248
	人件費	2,341	2,493	
	合計	167,065	260,721	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	167,065	260,721	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	より多くのファンに開催を告知するために新聞媒体の活用は必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	不特定多数にボートレース蒲郡の情報を告知できることは、効率的であると考える。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	ナイターレース中心のボートレース蒲郡にとって、新聞・雑誌広告での宣伝は重要である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	経費を節約する中で、一層効率的な出稿が求められる。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	各新聞社と価格交渉をしつつ出稿内容の充実に努めていく。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	464	電波広告事業		
根拠法令等		事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	-		
市長マニフェストの執行状況	-		

事務事業の内容

目的 (何のために)	レースの開催告知
対象(受益者) (誰・何を)	東海地区在住者
目標 (目指す成果)	開催日程告知を周知する
そのための 手段 (手法)	テレビ・ラジオを利用し、開催日程、レース結果などの情報を提供する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
テレビ実績	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、ケーブルテレビ	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、ケーブルテレビ	CBCテレビレースガイド、東海テレビレースガイド、ケーブルテレビ
ラジオ実績	CBCラジオ結果速報、東海ラジオレース結果	CBCラジオ結果速報、東海ラジオレース結果	
売上額	69,869,991,100	71,560,800,800	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
電波広告事業費一円あたりの売上額	目標				
	実績	1,048	441		年度
電波広告費に対する電話投票売上額	目標				
	実績	395	161		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

電波広告事業費一円あたりの売上額	総売上額/電波広告費
電波広告費に対する電話投票売上額	電話投票売上額/電波広告費

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.29人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.18人	非常勤	0.00人	再任用	
H22 人工計	0.32人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.08人	一般職	0.19人	非常勤	0.00人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	66,648	162,385	150,057
	人件費	1,951	2,107	
	合計	68,599	164,492	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	68,599	164,492	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	テレビを通しての告知は、不特定多数にボートレース蒲郡のPR出来るため、ファン拡大に寄与している。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	特に、ビッグレースの開催告知には、放映時間等の工夫により、より多くのボートレースファンにPRできるように工夫している。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	テレビを通しての告知は、ボートレース蒲郡のイメージアップ、レース情報提供に貢献している。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	ボートレース蒲郡のイメージアップに欠かせないと認識している。「トトまる = ボートレース蒲郡」は定着しているので、次なるステップに向かっていきたい。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	放映時間帯などの見直しなどにより、より効率的な放映に努めていきたい。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	465	看板広告事業		
根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	競艇	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

目的 (何のために)	レース開催日程告知・蒲郡ポートへの興味喚起
対象(受益者) (誰・何を)	ファン層及び一般層
目標 (目指す成果)	開催告知及び興味喚起による来場促進
そのための 手段 (手法)	場内看板及び交通広告

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
看板設置数	野立看板9、場内看板5、 駅看板4、出走表箱38	野立看板9、場内看板5、 駅看板4、出走表箱38	野立看板9、場内看板5、 駅看板4、出走表箱38

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
看板設置数	目標				
	実績	56	56		年度
入場者一人当たりの 看板広告事業費	目標				
	実績	26	30		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

看板設置数	看板設置数
入場者一人当たりの 看板広告事業費	自場看板広告事業費/入場者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.29人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.18人	非常勤	0.00人	再任用	
H22 人工計	0.34人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.23人	非常勤	0.00人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	20,521	19,703	27,355
	人件費	1,951	2,163	
	合計	22,472	21,866	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	22,472	21,866	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	ポートウィング発売日程の増加及び複雑化する日程のため告知の必要性が増加。また、交通広告による多数への宣伝効果が見込まれるため。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	開催告知及びビッグレース告知看板は注目度も高い。業者との連携も円滑であり短時間に実施可能である。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	道案内看板の再検討。交通広告という面を重視し、更なる付加価値を求めていく。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	23号バイパス開通を期に、道順案内看板の廃止・新規設置の検討が必要である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	時刻表看板等の書換頻度の高い看板をデジタルサイネージへ移行し、ランニングコストの低減を図る。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	466	宣伝用印刷物制作事業		
-------	-----	------------	--	--

根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
-------	--	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇	
------	---------------------	-----	----	--

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
----------------	---------------------	--	--	--

市長マニフェスト	-			
----------	---	--	--	--

市長マニフェストの執行状況	-			
---------------	---	--	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	購買促進、イメージアップ			
対象(受益者) (誰・何を)	ファン層及び一般層			
目標 (目指す成果)	常連層の来場促進および、新規来場促進			
そのための 手段 (手法)	ポスター、チラシ、パンフレット、競艇ニュース等の制作及び提出			

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
発行種類	G × 2、年間レギュラー、 チラシ、パンフレット、競艇 ニュース	G、SG、年間レギュ ラー、チラシ、パンフレッ ト、競艇ニュース	G × 2、SG、年間レギュ ラー、チラシ、パンフレッ ト、競艇ニュース
競艇ニュース 発行部数	370,000	318,000	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
競艇ニュース発行経 費あたりの入場者数	目標				
	実績	1.08	1.23		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

競艇ニュース発行経 費あたりの入場者数	競艇ニュース発行経費/入場者数入場者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.40人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.19人	非常勤	0.10人	再任用	
H22 人工計	0.40人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.19人	非常勤	0.10人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	55,561	70,095	96,724
	人件費	2,238	2,186	
	合計	57,799	72,281	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	57,799	72,281	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	時節のレース展望、レース日程などポートルースファンにとって必要性が高い

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	制作経費を抑えるなど経費節減に努力をしている

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	ポートルースファンにとって、ポスター、パンフレット等開催日程の告知物は必要とされており楽しみにしているファンも多く、これからも内容を見直しつつ継続していくことが必要と考える。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	紙ベースでの情報だけでなく、インターネット等と連動させ、告知の効果を高めていくことで紙以上の効果を出していくことが必要となってくる
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	ホームページと連動した展開も考えて今まで以上の効果をねらっていきたい。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	467	インターネット等広告事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	インターネットを利用した情報提供
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡ボート利用者
目標 (目指す成果)	購買促進へ繋がる情報提供
そのための 手段 (手法)	ホームページの制作及び運営

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
広告掲出サイト	オフィシャルサイト、予想サイト、特設サイト、モバイルサイト、インターネット広告	オフィシャルサイト、予想サイト、特設サイト、モバイルサイト、インターネット広告	オフィシャルサイト、予想サイト、特設サイト、モバイルサイト、インターネット広告
情報特設サイト アクセス数	13,907,268	48,100,700	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
情報特設サイト アクセス数	目標				
	実績	13,907,268	48,100,700		年度
インターネット 広告アクセス数	目標				
	実績	4,439,580	4,959,159		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

情報特設サイト アクセス数	情報特設サイトアクセス数
インターネット広告 アクセス数	インターネット広告アクセス数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.42人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.29人	非常勤	0.03人	再任用	
H22 人工計	0.42人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.06人	一般職	0.28人	非常勤	0.03人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	40,603	38,312	50,616
	人件費	2,542	2,499	
	合計	43,145	40,811	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	43,145	40,811	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	インターネットはインフラとして生活に必要不可欠であり、インターネット上での情報提供は必須である。 直接情報を提供することでより正確に実施できる。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	印刷物とは違い、情報の追加・修正を容易に実施できる。 情報のスピードも速いため効率も良い。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	リアルタイムな情報提供を実施するためにも必要不可欠な分野である。 円滑なホームページ運営もできている。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	インターネット上の技術は日々進歩しているため、何もしないと時代遅れなシステムになりかねない。常に新しい技術の情報収集が必要。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	23年度6月末より、予想サイトをリニューアルし、ランニングコストを削減、情報量をアップさせる。また、23年度後半以降、オフィシャルサイトの刷新の検討を進める。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	468	キャンペーン等運営事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	全国のボートレースファン層へのビッグレース開催告知。 電話投票会員に対するボートレース蒲郡への投票促進。
対象(受益者) (誰・何を)	全国のボートレース場、ボートピア来場者、電話投票ファンへ
目標 (目指す成果)	レースの開催を周知するために
そのための 手段 (手法)	全国のボートレース場及びボートピア等でノベルティの配布やイベントを通して周知する。また、新聞各社へ訪問しレースのアピールを行う。電話投票会員にはキャンペーンを実施し積極的にボートレース蒲郡への投票を促す。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
来場一人当たりの事業費			
S G期間中 来場者数		58,250	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
来場者数	目標				年度
	実績	11.2	56.5		
S G期間中 来場者数	目標				年度
	実績		58,250		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

来場一人当たりの事業費	事業費/来場者数
S G期間中来場者数	S G期間中来場者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.48人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.08人	一般職	0.26人	非常勤	0.09人	再任用	
H22 人工計	0.52人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.08人	一般職	0.30人	非常勤	0.09人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	8,898	36,761	50,247
	人件費	2,757	2,903	
	合計	11,655	39,664	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	11,655	39,664	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	ビッグレースの開催告知を行うことで、ボートレースファンのレースへの期待感、盛り上がりを高める。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	マスコミ媒体訪問によるPRによりスポーツ紙、一般紙でも記事として取り上げてもらうことが出来る。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	今後も積極的なPRは必要と考える。特にマスコミ媒体を介した告知は読者も好感的に受け止めていただいていると思われる。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	多くのボートレース場でのキャンペーンを実施していきたいが、経費のことを考えると難しい。そこで、訪問する箇所を絞り効率の良いキャンペーンを実施していきたい。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	ボートレース場中心であったキャンペーンを、ボートピアでのキャンペーンも加えるようにし、出来るだけ効率よく多くの場、ボートピアを回れるように工夫する。また、売上の大きいボートピアでのイベントも実施していきたい。電話投票会員に対しては、キャンペーンを工夫し、新鮮さと楽しさをアピールし投票を促していきたい。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	469	出走表製作事業		
根拠法令等		事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	-		
市長マニフェストの執行状況	-		

事務事業の内容

目的 (何のために)	自場売上促進のため
対象(受益者) (誰・何を)	ボートレース蒲郡来場者
目標 (目指す成果)	レース情報を正確に伝える
そのための 手段 (手法)	出走表を作成

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
印刷枚数	3,665,800	3,006,700	
入場者数	794,163	651,049	
自場売上額	15,966,485	12,415,007	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
出走表制作枚数一枚あたりの事業費	目標				
	実績	4.62	4.62		年度
出走表一枚あたりの自場売上額	目標				
	実績	20.10	19.07		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

入場者一人あたりの出走表取得数	出走表制作枚数/入場者数
出走表一枚あたりの自場売上額	自場売上額/出走表制作枚数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.38人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.24人	非常勤	0.04人	再任用	
H22 人工計	0.49人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.35人	非常勤	0.04人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	63,986	42,893	50,140
	人件費	2,292	2,816	
	合計	66,278	45,709	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	66,278	45,709	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	勝舟投票券を購入するために必要

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	責任校正で制作させており、発行部数も必要最小限に抑えている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	出走表は、来場者には絶対必要なものなので、今後も継続して事業を進めていく必要がある。紙面の構成、内容は今後も充実したものにしていける必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	限られた紙面の中で来場者には、出来るだけ多くの情報を提供できるように工夫が必要。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	大きな紙面構成の変更は、来場者への戸惑いが考えられるが、より充実した内容になるように工夫していきたい。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	470	出走表等配布事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	来場促進のため
対象(受益者) (誰・何を)	ボートレース蒲郡周辺のファンに
目標 (目指す成果)	レース情報や開催日程を伝えるため
そのための 手段 (手法)	駅、コンビニ、飲食店等に配布する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
配布箇所数	434	421	421
入場者数	794,163	651,049	
自場売上額	15,966,485	12,415,007	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
配布箇所一箇所あたりの事業費	目標				
	実績	70,840	55,588		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

配布箇所一箇所あたりの事業費	配布箇所数/事業費

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.28人	次長 課長級	0.04人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.19人	非常勤	0.00人	再任用	
H22 人工計	0.33人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.23人	非常勤	0.00人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	32,771	23,402	34,745
	人件費	1,828	2,085	
	合計	34,599	25,487	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	34,599	25,487	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	出勤時に出走表が駅等で目に触れることが重要であるとする

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	多数の配布箇所があり、委託会社は車8台で配布している。経費的にも圧縮しており効率性はよくなつた。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	ナイターレースの出走表が早朝より出勤時のファンの目に触れることは重要である。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	配布箇所の開拓や目に付きやすい箇所の選択等、更に増やしていく必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	事業としては継続していくが、コンビニ等若者が多く集まる箇所の開拓が必要。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	94-1175
---------------	----	-----------	-----	---------

事務事業名	471	電話投票事業		
根拠法令等		事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	-		
市長マニフェストの執行状況	-		

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡電投売上向上のため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇に関心のある人
目標 (目指す成果)	投票のための情報提供を行い売上向上を図る
そのための 手段 (手法)	テレビ・パソコン・電話・携帯電話を通じて

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
情報提供手段	日本レジャーチャンネル・ビクトリーチャンネル・PCブロードバンド	日本レジャーチャンネル・ビクトリーチャンネル・PCブロードバンド	日本レジャーチャンネル・ビクトリーチャンネル・PCブロードバンド
蒲郡電投総売上額 (円)	26,196,420,000	25,832,588,000	24,774,600,000
蒲郡競艇総売上額 (円)	69,422,163,000	70,630,973,000	70,000,000,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
電話投票売上額 対前年比	目標				
	実績	75.0%	98.6%		年度
ブロードバンド ページビュー	目標				
	実績	244,334,444	244,252,632		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

電話投票売上額 対前年比	当年電話投票売上額 / 前年電話投票売上額
ブロードバンド ページビュー	ブロードバンド総ページビュー数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.58人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.37人	非常勤	0.11人	再任用	
H22 人工計	0.68人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.47人	非常勤	0.11人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	229,489	224,508	251,078
	人件費	3,166	3,618	
	合計	232,655	228,126	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	232,655	228,126	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	ナイター開催場である蒲郡において、電話投票売上は非常に重要度の高い事業であり、電話投票売上を増やしていくためには必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	委託先との連絡を密にして実施しており、事務効率はよい。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	効率のよい運営をしており、前年度よりも売上金額は減少しているものの、平成22年度については電話投票売上全国1位という結果が出ている。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	さらなる電話投票会員への情報強化によって差別化を図る。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	WEB上での情報強化を行うとともに、スマートフォン対応も視野に実施していく。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	472	選手賞金等支払事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	ボートレース蒲郡のレース出場選手に賞金を支払うため
対象(受益者) (誰・何を)	ボートレース蒲郡のレース出場選手に
目標 (目指す成果)	モーターボート競走の適正な運営を図る
そのための 手段 (手法)	正確・迅速に支払うこと

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
選手賞金等支払額	1,326,302,100	1,334,555,200	1,440,952,000
支払い対象選手	1,647	1,488	
支払い回数	38	34	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
選手一人当たり 支払い金額	目標				
	実績	805,284	896,878		年度
1日あたり 支払い金額	目標				
	実績	6,907,823	7,714,192		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

選手一人当たり 支払い金額	年間選手賞金/支払い対象選手数
1日あたり 支払い金額	年間選手賞金/レース開催日数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.37人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.27人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.46人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.36人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	1,326,602	1,334,555	1,440,952
	人件費	2,363	2,775	
	合計	1,328,965	1,337,330	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	1,328,965	1,337,330	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	モーターボート競走選手処遇要領に基づき支払いがされている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	優勝戦日の翌々日には口座振替を行うよう処理しており、事務効率性は高い。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	モーターボート競走選手処遇要領に基づき支払いがされている。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	選手処遇要領に基づき支払いがされている。このため、売上減少に伴い、全国モーターボート施行者協議会等で適正な賞金額の検討が必要。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	事務効率性は高いが、選手賞金の見直し等の検討をすることが必要。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	473	警備取締事業		
根拠法令等		事業開始年度 事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5 . にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み		

事務事業の内容

目的 (何のために)	治安維持
対象(受益者) (誰・何を)	競艇場来場者
目標 (目指す成果)	安心して来場していただける環境の整備
そのための 手段 (手法)	警備体制の確立と円滑な警備業務の運営を通じて

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
警備体制	常駐警備・場内警備	常駐警備・場内警備	常駐警備・場内警備
警備区域	東通用門及び競艇場内全域	東通用門及び競艇場内全域	東通用門及び競艇場内全域

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
騒擾の発生件数	目標	0	0	0	0
	実績	0	0		継続的に
	目標			0	0
	実績				継続的に
	目標			0	0
	実績				継続的に

指標の説明

騒擾の発生件数	場内でのレース内容やその他要因による暴動

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.44人	次長 課長級	0.03人	補佐級		係長級	0.01人	一般職	0.00人	非常勤	0.40人	再任用	
H22 人工計	0.48人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.02人	一般職	0.01人	非常勤	0.40人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	63,710	68,668	107,654
	人件費	1,305	1,624	
	合計	65,015	70,292	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	65,015	70,292	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	競艇場内の治安維持に警備事業は不可欠である。 今後とも嘱託警備、自警、委託警備の3本柱での警備事業を市が統括し、お客様の安全を確保することにより、信用の下開催できるため。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	人件費は低額に抑えられ、事案処理などもスムーズなので予算には見合っている。 また、一般事務は主に非常勤職員が担当しているため、人工にも見合っているといえる。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	よりよい警備体制を整えるため、入札の方法や警備体制の見直しなどの必要があるため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	施設改善に伴い警備体制の見直しを図る必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	入札方法、警備体制の見直しなどにより、更なる改善を図っていく。 具体的には、施設改善終了までに段階的に進めていく。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	474	駐車場誘導・周辺警備事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み		

事務事業の内容

目的 (何のために)	治安維持
対象(受益者) (誰・何を)	周辺住民及び競艇場来場者
目標 (目指す成果)	安心して来場、居住できる環境を整備する
そのための 手段 (手法)	警備体制の確立と円滑な警備業務の運営を通じて

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
警備体制	周辺警備、場外南北警備	周辺警備、場外南北警備	周辺警備、駐車場警備
警備区域	塩田橋～拾石町交差点及び競艇場各駐車場	塩田橋～拾石町交差点及び競艇場各駐車場	塩田橋～拾石町交差点及び競艇場各駐車場

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
交通事故の未然防止(件数)	目標	0	0	0	0
	実績	0	0		継続して
	目標			0	0
	実績				継続して
	目標			0	0
	実績				継続して

指標の説明

交通事故件数	競艇開催時刻に駐車場で発生した交通事故件数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.14人	次長 課長級	0.03人	補佐級		係長級	0.01人	一般職		非常勤	0.10人	再任用	
H22 人工計	0.16人	次長 課長級	0.03人	補佐級		係長級	0.02人	一般職	0.01人	非常勤	0.10人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	41,970	42,997	61,608
	人件費	606	729	
	合計	42,576	43,726	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	42,576	43,726	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	競艇場周辺の治安維持には警備事業は不可欠である。 今後とも嘱託警備、自警、委託警備の3本柱での警備事業を市が統括し、お客様や周辺住民の安全を確保することにより、信用の下開催できるため。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	人件費は低額に抑えられ、周辺住民からの苦情も少ないことから概ね予算に見合った成果を上げていると言える。 事務作業は非常勤職員が行っているため人工に見合っていると言える。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	よりよい警備体制を整えるため、入札の方法や警備体制の見直しなどの必要があるため

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	施設改善に伴い警備体制の見直し必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	入札方法、警備体制の見直しなどにより、更なる改善を図っていきたい。 具体的には、施設改善終了までに段階的に進めていく。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	475	競艇場内外清掃事業		
-------	-----	-----------	--	--

根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
-------	--	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
----------------	---------------------	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	ボートレース場の環境保持
対象(受益者) (誰・何を)	来場ファンに対し
目標 (目指す成果)	1日あたりのゴミ排出量の低減
そのための 手段 (手法)	家庭のゴミは持ち込まないようにしていただくように啓発していく。 ひきつづき各売店での簡易包装を呼びかけていく。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
開催日数	192	186	204
ゴミ排出量 (kg)	182,430	123,710	140,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
1日あたりゴミ の排出量	目標				
	実績	950	665		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

1日あたりゴミ の排出量	ごみ量/開催日数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.55人	次長 課長級	0.03人	補佐級		係長級	0.01人	一般職	0.01人	非常勤	0.50人	再任用	
H22 人工計	0.56人	次長 課長級	0.03人	補佐級		係長級	0.02人	一般職	0.01人	非常勤	0.50人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	79,600	74,112	98,874
	人件費	1,593	1,671	
	合計	81,193	75,783	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	81,193	75,783	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	場内及び周辺美化のために必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	毎年度5～6業者による選定を行っており適切な落札価格で事務効率の向上を図っている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	場内外の環境美化に不可欠である。清掃範囲の見直し等も含めさらに質の向上を目指したい。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	ボートウイングの本格的稼働により、ボートウイング内及びその周辺のゴミが増えている。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	はずれ舟券の抽選機等を導入することによって、床に捨てられたゴミの軽減につながると思われる。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	476	救護・苦情処理事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	場内の治安維持のため
対象(受益者) (誰・何を)	来場者が
目標 (目指す成果)	安全安心な時間がすごせるように
そのための 手段 (手法)	初期救急や相談窓口の設置

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
救護件数	15	17	

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
救護件数	目標				
	実績	15	17		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

救護件数	救護件数(救急車を呼んだ件数)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.13人	次長 課長級	0.03人	補佐級		係長級	0.00人	一般職	0.00人	非常勤	0.10人	再任用	
H22 人工計	0.13人	次長 課長級	0.03人	補佐級		係長級	0.00人	一般職	0.00人	非常勤	0.10人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	526	519	
	合計	526	519	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	526	519	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	来場者が安心して来場できるために必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	救護・相談について適切かつ迅速な対応をしている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	来場者が安心して場内で過ごしてもらうには必要である。特に、救護関係は迅速な対応が必要であ

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	救護関係に関して設備の老朽化・設計の古さから快適な空間であるとは言い難く、夏の暑さ冬の寒さへの対応が出来ていないので、その対策が難しい。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	施設改善により快適な空間が出来れば、暑さ寒さへの対策が出来るので、来場者のストレスが軽減できると思われる。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	477	場内無料ドリンクサービス事業		
-------	-----	----------------	--	--

根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
-------	--	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
----------------	---------------------	--	--

市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり		
----------	---------------	--	--

市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み		
---------------	----------------------	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	売上向上のため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇場来場者
目標 (目指す成果)	来場者を長時間滞在させる
そのための 手段 (手法)	無料湯茶(緑茶・紅茶)の提供を通じて

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
湯茶サービス	緑茶・紅茶の提供	緑茶・紅茶の提供	緑茶・紅茶の提供
サービス提供箇所	場内5箇所	場内5箇所	場内5箇所

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
本場売上実績額	目標			70,000,000,000	
	実績	69,422,163,900	70,630,973,400		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

本場売上実績額	蒲郡競艇場での売上額

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.23人	次長 課長級	0.02人	補佐級		係長級	0.01人	一般職		非常勤	0.20人	再任用	
H22 人工計	0.24人	次長 課長級	0.02人	補佐級		係長級	0.01人	一般職	0.01人	非常勤	0.20人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	12,855	14,123	32,454
	人件費	741	791	
	合計	13,596	14,914	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	13,596	14,914	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	湯茶サービス事業は委託で行っているが、それを市が統括することで適切な事業ができると考える

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	原料、紙コップ、人件費などは低額に抑えられているため、効率的な運営ができている。また事務、管理は非常勤職員が行っているため、人工にも見合っているといえる

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	緑茶、紅茶でもお客様からそれなりの評価を得ているが、より安価で人気のある商品の導入を検討

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	より良質で安価な原料の入手や新たな機械導入による人件費の削減などを検討する必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	施設改善に伴い新たな機械を導入することになるが、人件費を抑えられ、また安価で良質な原料を使用できるような機会の導入が必要である。施設改善終了までに検討のち改善していく。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
事務事業名	478	ファンバス運行事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5 . にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり		
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み		

事務事業の内容

目的 (何のために)	公共交通機関から競艇場への来場環境整備
対象(受益者) (誰・何を)	公共交通機関での来場者
目標 (目指す成果)	来場者数増加
そのための 手段 (手法)	ファンサービスバスの運行を通じて

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
ファンサービスバス運行	J R 蒲郡駅～競艇場 名鉄東岡崎駅～競艇場	J R 蒲郡駅～競艇場 名鉄東岡崎駅～競艇場	J R 蒲郡駅～競艇場 名鉄東岡崎駅～競艇場
バスターミナル運営	5人体制	5人体制	5人体制

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
来場者数	目標				
	実績	794,163	651,049		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

来場者数	本場来場者(場外入場者含)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.33人	次長 課長級	0.02人	補佐級		係長級	0.01人	一般職	0.00人	非常勤	0.30人	再任用	
H22 人工計	0.34人	次長 課長級	0.02人	補佐級		係長級	0.01人	一般職	0.01人	非常勤	0.30人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	74,558	70,300	85,003
	人件費	974	1,027	
	合計	75,532	71,327	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	75,532	71,327	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	公共交通機関を使って来場されるお客様の足を確保するために必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	ファンバス1台の価格は愛知県バス協会が定める範囲内で適正に設定されているため。また、事務は主に非常勤職員が行っているため、人工にも見合っているといえる。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	ナイトレース開催により、本場入場者の減少に歯止めはかからず運行の方法に改善の余地がある

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	バス乗車人数の減少などが挙げられる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	バスの大きさを見直すことによって予算を削減し、更なる運行ルートの開設や運行形態の見直しを施設改善終了まで段階的に行っていく。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 事業課	内線等	1172
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	479	入場門等運営事業		
-------	-----	----------	--	--

根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
-------	--	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
----------------	---------------------	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	入場料の徴収。指定席での安全かつ円滑適切な入場案内と指定席券の販売。出走表の手渡し、キッズルームでの実務と管理。
対象(受益者) (誰・何を)	ボートレース蒲郡に来場するファンに対して
目標 (目指す成果)	各業務での安全、円滑、適切な対応で来場するファンへのサービス向上を図る
そのための 手段 (手法)	お客様を心から歓迎する姿勢で身だしなみ言葉使いに留意し適切な対応を心がける。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
開催日数	192	186	204
入場者数	794,163	651,049	650,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
入場者一人当たりの費用額	目標				
	実績	30.4	31.5		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

入場者一人当たりの費用額	事業費/入場者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.43人	次長 課長級	0.02人	補佐級		係長級	0.01人	一般職	0.00人	非常勤	0.40人	再任用	
H22 人工計	0.44人	次長 課長級	0.02人	補佐級		係長級	0.01人	一般職	0.01人	非常勤	0.40人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	24,180	20,539	6,215
	人件費	1,208	1,263	
	合計	25,388	21,802	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	25,388	21,802	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	入場料、指定席券販売やこれらに関連した付帯業務は、お客様へのサービスとして必要である。キ

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成18年度より民間委託しており、毎年度見積もり合わせによる競争入札を実施して経費削減に

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	来場するファンの管理、指定席のお客様へのキメ細かいサービスの提供など、ファンを最初にお迎

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	平成23年度からは従事員へ切り替えたが、質の低減が懸念される。そこで、粘り強く指導していきながら、サービス向上に努めていきたい。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	施設改善中の業務、施設改善後の業務と分けて考える必要があるが、施設改善後は民間委託によるサービス向上に努めていきたいと考えている。